

名産研 活動レポート

VOL.29配信

2024.4.30

中部 TLO より

第14回「AITテクノサロン」を共催にて開催しました

●日時/ 3月26日（火）
14:00～17:00

●場所/ 愛知工業大学
自由ヶ丘キャンパス

●主催/ 愛知工業大学総合
技術研究所

●協賛/ 大垣共立銀行、豊
田信用金庫、名古屋銀行

趣旨タイトル/ カーボンニュートラルに向けて ～国・県の政策から大学での研究～

- プログラム/
14:00～ 「我が国のカーボンニュートラル燃料政策の動向」
総合技術研究所 教授 近藤 元博
- 14:30～ 「カーボンニュートラルに向けた地方創生エネルギーシステムにおけるブルー燃料の役割と課題」
総合技術研究所 客員教授 板谷 義紀
- 15:00～ 「燃料から考えるカーボンニュートラルへのアプローチ」
工学部機械学科 教授 西島 義明
- 15:30～ 「カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵材料の開発」
工学部応用化学科 准教授 糸井 弘行
- 16:10～ 意見交換会(懇親会)



第14回 AITテクノサロン

2024年 3月 26日（火）14時00分～17時00分
愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス

参加無料
(定員50名)
70 3017

～国、県の政策から大学での研究～

14時00分～ 「我が国のカーボンニュートラル燃料政策の動向」
総合技術研究所 教授 近藤 元博
GX推進法が規定する本格的な脱炭素への政策の動向と、現在在野のGX推進期待の検討が盛り込まれています。この中でも、有力な脱炭素の切り札となる水素、アンモニア、methanol、e-fuel、電力生成などの脱炭素燃料の最新動向と今後の展開について解説します。

14時30分～ 「カーボンニュートラルに向けた地方創生エネルギーシステムにおけるブルー燃料の役割と課題」
総合技術研究所 客員教授 板谷 義紀
カーボンニュートラルの脱炭素目標に向けて、燃料から多大な寄与による多面的な役割を期待でき、自動車や船・航空機といった移動システムの脱炭素化に貢献を期待しています。中でもブルー燃料は脱炭素化目標に貢献する化学燃料、熱源、原料供給等で大きな役割を担うことが期待されています。最新の動向、今後の展開について紹介します。

15時00分～ 「燃料から考えるカーボンニュートラルへのアプローチ」
工学部機械学科 教授 西島 義明
最新の動向において燃料は必要不可欠なもので、一部の企業は既に「カーボン」を削減していることから燃焼時のCO2排出を減らすことができます。カーボンニュートラルに向けてこの燃料を代替する代替燃料が求められているCO2削減技術や実用化の最新動向を聞き取ってCO2削減技術について紹介します。

15時30分～ 「カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵材料の開発」
工学部応用化学科 准教授 糸井 弘行
バイオマス資源の有効活用と、最終的なエネルギーによる環境負荷の削減手法に着目した、高性能エネルギー貯蔵材料の開発について紹介します。

16時10分～ 意見交換会(懇親による懇話会)

〒479-0392
愛知県豊田八景町八千早1247
0565-48-8121 (内線1400)
so-kejima@aitech.ac.jp

3月15日(金)までに、フォームまたはメールにてお申込みください。
<https://reg.chusho.meti.go.jp/aitech/form/techsalon14>
※メールでお申込みの場合は、氏名・所属をお知らせください。

↓ 鈴置所長の挨拶



↓ 会場での講演シーン



Go-Tech事業支援実績紹介

令和4年度より旧サポイン事業の継続案件と共に、この新規事業への対応をしています。

当財団はこの管理機関として、毎年、一般公募からの相談を経て申請手続きをし、年1～2件の新規採択を得て事業管理業務をしています。

Go-Techとは、Growth-oriented SMEs Technology Development Support Grant Programの略称で、「中小企業の特定制のつくり基盤技術およびサービスの高度化に関する指針(ものづくり高度化指針)」に基づいて中小企業庁が実施する「成長型中小企業等研究開発支援事業」をGo-Tech事業と呼んでいます。

平成18年度から令和3年度までは、戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)として公募されておりましたが、令和4年度の公募から事業内容が変更になりました。

採択	終了	分野	事業名	補助金区分
R4	R6予定	複合・新機能材料	パワー半導体の高密度実装に対応した高放熱セラミックス基板の開発	出資獲得枠
R5	R7予定	材料製造プロセス	産業廃棄プラスチックの地産地消を実現するケミカルリサイクル装置の開発	通常枠

詳細はこちら

<https://www.chusho.meti.go.jp/sapoin/index.php>

あいち環境塾

2023年度「オープン講座」を開催しました

●日時/ 3月23日(土)
13:00-16:30

●会場/ 名古屋商工会議所
ビル内会議室

●参加者/ 30名

●主催/ 愛知県、当財団

今回は以下構成のプログラムで行い、参加者の方々に当塾のエッセンスを肌で感じて頂きました。

- ①「あいち環境塾」の説明
- ②中部SDGs推進センター代表理事戸成司朗氏による講演
- ③卒業生による成果発表
- ④会場参加者によるディスカッション

↓講演中の戸成氏



↓近藤PCからの塾説明



↓ディスカッションでの一コマ



eナビセミナーの特別オンラインセミナーを開催しました

●日時/3月7日(木)
13:00-13:45
オンラインにて無料開催

●開催内容
①セミナー主旨・ChatGPTの紹介他
セイコンサルティンググループ(株) 田淵真理子氏

②「知能業務の自動化を、やすく、はやく」
(株)トライエティングCEO兼CRO 長江祐樹氏

●実参加者/ 12社
(関西地区限定)

主催/ 当財団
協力/セイコンサルティンググループ(株)

eナビセミナー第一弾テーマ「AI導入の取り組み方」のセカンドセミナーとして、無料オンラインセミナーを企画し、今回は関西地区の中小企業様約14万社をターゲットに、LP付DMで財団PRを兼ねてご案内する新広報手段を活用して開催しました。

↓スライド抜粋

↓進行兼任のSC社:田淵氏



↓メイン講義のTY社:長江CEO



出張研修のご案内

本研修は、2020年～2023年のコロナ禍期間において全く引合いもなく休閑状態でしたが、本年に入り、ようやく企業様も社内で集合研修ができるようになってきました。

コロナ禍でオンラインセミナーへの傾注が進展し、大手企業ではeラーニングの自社制作・導入も拡がりましたが、その教育成果はいかがでしょうか？

今後の自社課題に必要となる先行技術や最新の知見をより多くの社員に管理者同席で教育できるのが弊所の講師派遣型社内研修です。

ご希望のテーマ・希望日時、予算等を頂ければ、最適な講師リサーチから始め、公益財団ならではの低料金でご案内します。

- 社員様に自社にない技術や知見の教育をとお考えなら、是非、当研修のご利用を!
- ご希望に最適な講師をリサーチし貴社内の会議室に派遣致します!
- セミナーへの社員派遣と違い、多数の社員への同時教育が出来、講師と直接質疑も出来て理解が深まります!

パンフ抜粋

名産研の選べる出張研修

ニーズは？

研修の特徴

技術経営的特別教育

専門分野スキル教育

工学基礎全般教育

カリキュラム

研修例の紹介

↓会議室にて17名への講義 (本年3月8日に開催)

詳細はこちら↓

<http://www.nisri.jp/chc/ondemand.html>

研修例の紹介

↓食堂にて数名への講義



↓ホールにて150名規模で講演



↓会議室にて17名への講義 (本年3月8日に開催)



財団事務局より

2024年3月通常理事会を開催しました

- 日時
3月28日(木)
10:00~11:00
- 場所
名古屋商工会議所ビル会議室

会場とオンライン併用型開催で行い、議事案のご承認を得ました。

- 出席役員 理事 15名 (web出席含む) 監事 2名
- 審議案件 第1号議案 「令和6年度事業計画(案)」に関する件
第2号議案 「令和6年度収支予算書(案)」に関する件
第3号議案 「令和6年度資金調達及び設備投資の見込み」に関する件
- 報告事項 代表理事、業務執行理事の職務執行の状況報告

↓議長:内藤理事長(右)と小野木専務理事

